「御堂筋デザインガイドライン」の一部変更について（概要）

■改正の経緯

- 大阪市では、『大阪市景観計画』において、御堂筋のうち土佐堀通から長堀通の区間を「まちなみ創造区域」と定め、沿道のにぎわいづくりと風格ある景観の継承をめざし、地区計画と『御堂筋デザインガイドライン』（以下、「ガイドライン」という。）により、事業者等と本市との対話・創造に基づく景観誘導を実施しています。
- さらに、ガイドラインに定める広告物の基準等については、「暫定利用、イベント対応時に限り、設置基準を緩和することができる」としており、協議のうえ、広告・サインの掲出に必要な項目について基準等を緩和しています。
- また、近年、万博をはじめとするイベント開催による集客力強化の機運の高まりが見られ、民間事業者や地域団体等による各種イベント等の開催により、地域のにぎわいづくりにつながっているところです。
- こういったイベント等について、各イベント内容に沿った広告物の掲出に柔軟に対応することによって、さらなるにぎわいの形成やまちの魅力向上が期待されることから、今般、暫定利用やイベント対応時についての広告物の取扱いの指針を示すガイドラインの変更を行うものです。

■主な改正内容

- イベント等におけるにぎわい形成のため、一時的に表示されるイベント時等の広告物について、ガイドラインに示す設置基準等を「適用除外」としつつ、御堂筋にふさわしい上質なにぎわい形成に資するよう求めます。
- あわせて、地域景観づくり推進団体による広告・サインに係る地域ルールの運用実績を踏まえ、当該団体がより主体となる運用をめざします。